



議会だより

なよろ

14

No.

2009 .10 .1 発行



### 開校100周年記念式典

8月23日、東風連小学校開校100周年記念式典でオリジナル曲「100周年記念の歌」を歌う14人の児童(写真上)



9月13日、名寄中学校学校祭伝統の「合唱コンクール」

## 第3回定例会

主な内容

定例会で決まったこと・可決された意見書 .....	2
一般質問に12人 .....	3 ~ 8
議員協議会・議員派遣報告・用語解説 .....	9
議会報告会 .....	10
議会改革調査特別委員会・議会スナッフ .....	11
委員会視察・活動報告 .....	12 ~ 13
へこたれない・議会日誌・編集後記 .....	14

## 第3回定例会 9月1日～18日の18日間

# 好評！住宅リフォーム 合計五千万円 50件分 1千万円を追加

平成21年第3回定例会は、9月1日から18日までの18日間開かれた。

議案等の審議では、「名寄市国民健康保険条例の一部改正について」をはじめ条例案3件、補正予算案6件、意見書5件、その他6件が可決され、「なよろ市立天文台条例の制定について」ほか2件の条例案は各常任委員会に、「平成20年度名寄市各会計決算の認定について」ほか2件は、決算審査特別委員会を設置し付託された。また、「平成20年度名寄市風連特例区会計決算の報告について」ほか1件が報告された。

一般質問は、16日から18日の3日間行われ、12人の議員が市政に関する課題について質問した。また、18日には新型インフルエンザの流行時期を迎えての対応について熊谷議員が緊急質問した。

### 主な条例

名寄市国民健康保険条例の一部改正について  
少子化対策の一環として、平成21年10月1日から23年3月31日までの間、出産にかかる負担軽減のため、出産育児一時金を現行の35万円から39万円に増額するもので、原案のとおり可決した。

なよろ市立天文台条例の制定について

平成22年3月完成予定の天文台に関し、必要な事項を定めるもの。総務文教常任委員会に付託された。

名寄市農産物簡易加工処理施設条例の一部改正について

地場農産物の高度利用による特産品の開発と地域住民の食生活の向上のため、名寄・風連両地区に設置されている農産物加工処理施設の利用料金の格差を、段階的に統一するための条例改正で、経済常任委員会に付託された。

### 可決された意見書

- ・大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書
- ・米価暴落に歯止めをかける緊急対策と米を守る抜本対策を求める意見書
- ・核兵器廃絶へ速やかな国際交渉の開始を求める意見書
- ・季節労働者対策の強化を求める要望意見書
- ・道路の整備に関する意見書

### 主な補正

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金  
医療法人所有のグループホームが設置するスプリンクラーに対して、国の交付金を活用して助成する。

住宅リフォーム促進助成事業

事業の利用が好評で、すでに予算化している200件分4,000万円では不足することから、さらに50件分1,000万円を追加するもの。

### 審議日程

9月1日(火)	16日(水)
・開会	・一般質問
・委員会報告 (請願)	議会運営委員会
・行政報告	17日(木)
・議案の審議	・一般質問
・決算審査特別 委員会設置	経済常任委員会
・議員の派遣 決算審査特別 委員会	18日(金)
7日(月)	・一般質問
議会改革調査 特別委員会	・追加議案の審議
議員協議会	・意見書案の審議
	・委員の派遣
	・議員の派遣報告
	・委員の派遣報告
	・閉会
	議会改革調査 特別委員会

一般質問



D P C の積極活用を

市民連合

佐藤 靖 議員

政権交代と市長の今後は

**問** 第45回衆議院議員総選挙で、憲政史上初の本格的な政権交代が実現した。「国民の生活が第一」を掲げる民主党中心政権への見解と、期待することは。来春の市長選挙に対する島市長の態度表明時期は。

**答** 総選挙で示したマニフェストが基本となるが、民主党は国民の生活が第一としており、これを誠実に実行していただきたいし、来年度の予算方針等を早い時期に示し、混乱を与えない対応を期待している。総選挙によって政治は激動の時期を迎えた。加えて平成20年度決算審査特別委員会をクリアする中で、態度を明らかにする時期が来る。



市民が主役のまちづくりを

緑風クラブ

大石 健二 議員

中心市街地の再生と活性化を問う

**問** 9月7日の議員協議会で報告された名寄駅隣接地の開発について、その後の状況変化に伴い補足すべき事柄が発生していないか。また、商業振興のソフト事業に「創業プランコンテスト」や「学生ビジネスプランコンテスト」を加え、創業や起業を促進する考えはないか。

**答** 民間事業者間での協議が継続中だ。これに伴い追加議案の土地処分案は見送る。創業プランコンテストの提案については、中小企業振興審議会等に諮って協議検討していきたい。

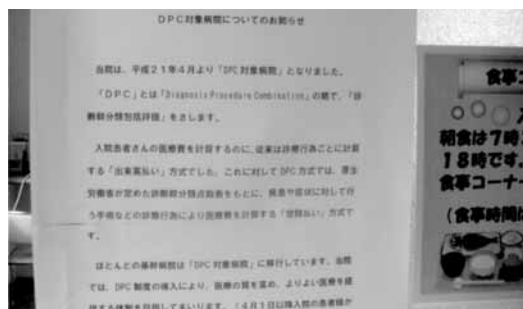
行財政改革の経過は

**問** 行革推進実施本部は、行革推進計画を強化・迅速に進めるとしているが、今定例会の行政報

市立総合病院の展望と観光行政のあり方は

**問** 市立総合病院では4月からD P C<sup>1</sup>(9P)を導入している。入院費を事前に知らせ、安心して治療が受けられるD P Cは、一方では医療マネジメント改革に役立つとされている。積極的な活用で、同病院が抱える諸課題に対応すべき。また観光行政で名寄の自然の良さをアピールすべき。

**答** D P Cは、今後も院内で活用方法の研さんを深めていく。名寄の自然の良さもしっかりアピールしていきたい。



病院内ではD P C 導入が告知されている

告で1行たりとも協議経過について触れていないが、どのような経過をたどっているのか。また、早期に実施導入を見込んでいた管理職の勤務評価の実施は。

**答** 機構改革案は、12月定例会で提案したい。管理職の勤務評価は今年8月に導入予定していたが遅れている。10月以降の実施に向けて準備を進めている。現段階では遅れているが、年度内には試行したい。

他の質問・国政の潮流変化に伴う島市政の運営を問う。市民文化ホールの建設構想を問う。



再生活活性化策が求められる中心市街地



一 般 質 問



高齢者世帯に  
「いのちのカプセル」を

公 明  
高橋 伸典 議員

いのちのカプセルの設置を

問 高齢世帯の急病時に救急隊員などが迅速で的確な救命処置を行う等、いざという時に大いに役立つ、個人の医療情報や緊急連絡先などの情報を収納した「救急医療情報シート」導入が、高齢者の安全確保の観点から必要と考えるが、

答 総人口 3 万 939 人、うち 65 歳以上 8187 人で、世帯の高齢化や独居化が進んでいる。「いのちのカプセル」は、高齢者の緊急時に対応するものとして、全国的に普及が進んでおり、本市においても配置に向け前向きに検討したい。いのちのカプセルが高齢者の命綱となり、実効性を高めるため、配置物の形状等や実効性が上がるような方法を協議していく。



新交通システムで試行

緑風クラブ  
山口 祐司 議員

下多寄線車両実証運行

問 下多寄線で行われる乗り合い車両実証運行までの経過と、住民説明会での反応と今後の取り組みは。

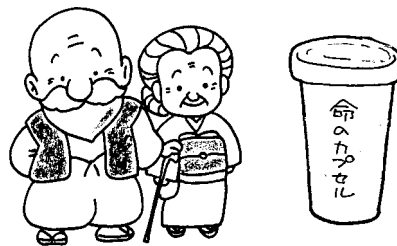
答 住民ニーズに応えた利便性の高い公共交通システムの構築を目的として、今年 5 月に名寄市地域公共交通活性化協議会を設置した。その中で下多寄線を対象として、10 月 11 月の 2 ヶ月間乗り合い車両による実証試験運行をすることとした。住民の反応も自宅に迎えに来るなどの利便性に期待する意見も多くあり、試験運行に理解を得られたものと思う。実証試験運行期間に利用者からの聞き取りやアンケートを行い今後の参考にしたい。

新型インフルエンザ対策

問 市民への周知・予防対策と名寄市立総合病院と市内医療機関との連携と対策の考えは。

答 9 月 14 日名寄市新型インフルエンザ対策本部を立ち上げた。うつらない、うつさないための予防対策を含め、9 月広報のチラシ等で市民周知を図っている。市立総合病院は発熱外来を設置し、すべての医療機関で直接受診できる体制となっている。

他の質問・照明灯に発光ダイオードの導入。育児世帯にごみ袋無償配布を。東地区とまちなかの東西連絡橋について



安心を命のカプセルに！

特養ホーム待機の実態

問 特別養護老人ホームの入所待機者の状況と総合計画の施策に掲げた整備改修事業について現時点での考え方は。

答 市内 2 施設への入所待機者は約 190 人となっている。このうち在宅で介護サービスを受けながら生活している方は、80 人となっている。第 4 期高齢者保健医療福祉計画、介護保険事業計画では、民間活力の導入による小規模多機能施設を平成 22 年開設することとしている。他の質問・カラーバリアフリー対策について



総合計画で整備改修が予定される  
風連特養「しらかばハイツ」

一般質問



地域協議をしっかりと

凜風会

木戸口 真 議員

■ 新たな町内会へ

**問** 風連地区の住民自治組織（町内会）移行に向けた状況は。今まで行政区長が各団体の役員となっていたが、地域の負担とならないよう整理すべきと思うが。特例区終了後のコミュニティセンターの管理運営に関する地域との協議が必要ではないか。

**答** 各地域では移行に向けて順調に進んでいる。22年4月から町内会組織へ移行できるよう12月頃を目途に作業を進めて頂いている。各団体の役員選出は、町内会単位での対応で協議したい。コミュニティセンターの運営は、過度な負担とならないよう、地域の自主管理を基本に地域協議を2月頃に開始したい。



国内最大級の天文台

市政クラブ

黒井 徹 議員

■ 新天文台の活用策は

**問** 完成が期待される天文台だが、職員配置や、一般市民への公開天文台としての活用法と北大との連携をどのように進めるのか。

**答** 北大が設置する大型の望遠鏡は23年3月となるが、22年から4名体制と考えている。一般公開も市内小中学校と協議をし、天体を体験する学習を計画する。大学との連携も、全国各地の大学研究者と検討会を実施しているところで、今後、学術研究会の開催も多数見込まれ、市全体の交流人口増が期待される。維持管理費は、北大との共通分を含めて2,230万円を見込んでおり、北大とは折半で合意しているので、市単独費用は1,500万円程度となる。

■ 日進保育所の今後は

**問** 休止となった日進保育所の経過と現況は。今後について地域と話し合いが必要ではないか。

**答** 19年度に冬期間実施することで保護者の理解を得、「さくら保育園」に通園し、集団による教育を行うこととした。利用者が10人以下では他地区の実態もあり開所は難しい。現在さくら保育園に6名が通園しており、さらに増えると予想される。保護者には交通費を助成している。今後の支援については、市・保護者・地域で意見交換をして進めたい。



19年から休止が続く風連日進保育所

■ 大学で看護師の確保を

**問** 大学として、来年3月初めて卒業生を出すことになるが、市立総合病院の看護師確保に向けた就職状況と、今後の施設整備計画は。

**答** 看護科が出来てから過去10年間で68名が地元病院に就職している。今後も地元人材育成のため努力する。整備計画については、図書館、食堂、テニスコートやクラブハウス等を考えているが、多額の費用が見込まれるため、しっかりとした年次計画を作成する。



一般市民への公開で活用が期待される新天文台（9月19日）

一般質問



将来を見つめて

市政クラブ 佐々木 寿 議員

■ 認定調査は公平適切に

**問** 要介護認定は、調査員によるところが大であるが、認定方法・対応は。また、若年性認知症の現状と取り組み、支援は。

**答** 本年10月1日以降の調査判断基準が変更になるため、9月中旬に認定調査員の研修が実施される。認知症状を呈する方が746名いる。若年性認知症は、7人から11人と推計される。市として専門の相談対応部署はないが、相談があった場合、40歳以上であれば、様々なサービス制度、成年後見制度と併せ対応していく。

■ 自然資産を未来へ

**問** 九度山が名勝指定されたが、これを機に自然景観の保全と環境整備に向けた対応は。また、

教育活動に反映すべきだが、見解は。

**答** 年内に名寄市文化財審議会に「管理計画の指針」を諮問する予定。さらに、関係機関と協議し管理計画の準備を進める。また、市指定文化財もあり、ほかにも景観の優れた環境財産について情報の収集に努める。また、本市作成の社会科副読本に追加し、故郷を知り愛する心を育む地域教材として活用していく。

他の質問・CO<sub>2</sub>削減のための取り組み、循環型社会の創出、臨時・非常勤職員の任用・活用実態について



普及が待たれる成年後見制度



文化ホールをまちなかに

市政クラブ 駒津 喜一 議員

■ 文化ホール建設を市中心部に

**問** 文化ホールの建設計画が市民会館ホールの老朽化により、新たな形で検討されているが、文化ホールは地域交流の拠点にもなり、にぎわいの創出、地域の活性化にもなるもので、中心市街地活性化を推進するためにも、市内中心部に建設するのが、まちづくりの面でも効果が大いなのは。

**答** 庁内検討会は市民アンケートを実施し、さらに専門アドバイザーを交えて開催されている。座席数・規模並びに建設予定地については数カ所候補地があり、今後予定している市民懇談会で具体化していく。

■ 高齢者の緊急時のために

**問** 独居高齢者の支援策として、医療や連絡先を情報カプセルに入れて、どこの家庭にもある冷蔵庫に保管し緊急時に備える動きが全国的に広がりつつあるが、この取り組みについて

**答** 独居高齢者世帯は年々増加傾向にあり、緊急通報システムなどの充実化を進めているが、こうした取り組みも今後検討していきたい。他の質問・名寄市立総合病院の整備について。ドクターヘリポートの設備を含む広域医療の対応と病院周辺の駐車場整備について



老朽化により改修不可能になった市民会館ホール



一般質問



医療負担軽減のために

日本共産党  
川村 幸栄 議員

■ 窓口の一部負担減免は

**問** 医療費負担の重さを訴える声が多い。新型インフルエンザの大流行が懸念される中、負担の重さが受診抑制につながってはならない。約3億円の基金を使って、国保税の引き下げを。また、国民健康保健法第44条、窓口での一部負担金減免の名寄市での周知と利用状況は。

**答** 基金は緊急時に1億5千万円のほか高額医療等のために必要。引き下げは難しい。負担金減免は、モデル事業をみながら整備したい。

■ ヒブワクチンの接種を

**問** 毎年約千人の乳幼児が罹る細菌性髄膜炎は、インフルエンザ菌b型と肺炎球菌が原因。初期症状は発熱以外に特別なものはなく、診断が大

変難しい。重篤な状態となって初めてわかる病気である。しかし、ヒブワクチン<sup>(α9P)</sup>はすでにできており、ほぼ100%の予防が期待できるが、4回で約3万円と高額である。国への定期接種化の要請と市独自の助成制度を

**答** 国内では、生産が需要量に達していないことから、希望する保護者と小児科医師との間で予約制を取り対応している。

他の質問・介護認定見直しの対応。農地法改正・日米自由貿易協定の市の考え方。市営住宅の施設整備について



健やかな子どもの成長を願う



全国へ名寄市のPRを

市政クラブ  
持田 健 議員

■ 全国へ名寄市のPR

**問** 今年の夏にサンピラーパークで、ひまわり結婚式が挙げられ、報道されたことは、大きなPRとなった。名寄市の自然環境を活かして集客人口の拡大を図るPRは。

**答** ひまわり畑での結婚式を夢見ていた新婦がサンピラーパークをインターネットで探し当て、振興公社の全面協力のもと、ひまわり結婚式が実現し、新聞・テレビで取り上げられ、サンピラーパークが広くPRされた。集客人口拡大のため、同公園や天文台を活用したイベント等を、民間企業観光協会と連携し一層充実したものにしていこう。

■ 市道の安全確保を

**問** 南小学校と八号通の間、南11丁目通の南側も除雪を実施して通学路の安全を確保しては。

**答** 歩道の除雪は、幹線道路や通学路を基本に行っている。南小学校の通学路は、国道の歩道橋と、八号通の信号機が通りの北側に設置されていることから北側歩道を除雪している。南小学校とスポーツセンター間は、徳田方面から通学する児童や、スポーツセンター利用者の安全を考慮し、今年度も継続して実施する。

他の質問・照明灯にLEDの導入を。



自分たちも種まきをしたひまわり畑で挙式の二人(8月2日)

一 般 質 問



真の自治と公開を

凜風会

佐藤 勝 議員

■ 地域自治組織が欠落

**問** 今、名寄市自治基本条例（仮称）素案が市民に示されているが、「コミュニティ」の定義が極めて曖昧。素案では、「まちづくりの基本理念」（第 3 条）で市民と名寄市の二者のみがまちづくりの主体として定義されているが、その中間に位置し地域自治を担うべき「地域自治組織」が欠落している。市民と地域自治組織（地域協議会、独自の事業・財源を有し、一定の地域内自治権を持つ）そして名寄市、この三者をもって「まちづくり基本理念」（第 3 条）とすべき。

**答** 第 33 条第 1 項で「地域単位の住民活動が自治の重要な担い手であることを認識し」とし

ている。小学校単位を基本とした「地域自治区」を目指しているが、事務所、スタッフ等の問題で時期尚早と判断。地域が主体となった自主的な組織「地域連絡協議会」を設置することに。現在名寄 7 地区で町内会の枠をこえて活動中。

■ 全てを公開せよ

**問** 庁議、部・次長会議の審議事項・報告事項全てを、論点・質疑・結論に整理して公開せよ。

**答** 来年 4 月以降、簡潔な情報として発信する。他の質問・「なよろ健康の森」「道立サンピラーパーク」「トムテ文化の森」の案内表示について



誰にでもわかる案内表示を（名寄十号橋）

**答** 認知症をはじめ高齢者の肉体的精神的な能力の衰えは、「孤立」することにより進行速度が速まる。その防止策として介護予防教室や料理教室、趣味サークルの活動支援をしている。また、独居高齢者の見守りには社会福祉協議会や町内会関係者らの協力により、高齢福祉課や地域包括支援センターで情報の整理をし、万が一の場合に対応できるようにしている。

総合計画でケアハウス等の整備、しらかばハイツ改築工事を計画。民間活力の導入による小規模多機能施設を、平成 22 年に開設予定。



介護施設と老健施設について

清風クラブ

田中 之繁 議員

■ 高齢化社会における介護の取り組み

**問** 今後国の政策の中で、社会福祉は地域において積極的・計画的に整備していく必要がある。

**答** 名寄市の老人福祉施設、老人保健施設、地域グループホームでの収容人口割合は、同規模の市の中でトップレベルであるが、今後さらに高齢化少子化が進む状況にあっては、国の新たな福祉施策を見据えながら対応したい。

■ 独り暮らしの高齢者の生活状況は

**問** 行政がどこまで把握しているのか。どのような手当をしているのか。今後どのように対応していくのか。また高齢者介護のグループホームと老健施設に関し施設増設の考え方。民間施設への行政協力は。



地域社会の高齢化により必要性が高まる老健施設



議員協議会

駅横整備 市民周知と理解が鍵！

7月28日開催の議員協議会では、名寄市の最高規範となる「名寄市自治基本条例」の素案が示された。この素案は、昨年2月に名寄市自治基本条例市民懇話会を立ち上げ、条文化に向けて検討を重ね、今年3月に答申された条例案を基本に整理されたもので、その内容の説明を受けた。今後は、まちづくりの重要性を深め条例の理解度を高めるため、市民へ周知し、意見を聞き、最終的に条例案をまとめ、12月の市議会定例会に提案する、と説明された。

議員からは、「全市民誰もが理解できる条文」とすることなどの意見が出された。

9月7日は、名寄駅横地区整備事業（仮称）の説明を受けた。西條の整備案は、商業集客施設（スーパーマーケット、温浴施設）と、高齢者賃貸住宅（3階建て1LDK6戸・2LDK9

戸計15戸）の構想であること。温浴施設について、既設浴場と調整協議中であること。また、市の進める公共施設整備事業では、4億1千万円のバスターミナル等の建設を含む総事業費6億円について、まちづくり交付金2億3千万円、合併特例債3億5千万円を財源とし、市負担は2千万円とする説明があった。議員協議会では、駅横全体の整備計画案に向けた今後の課題をめぐり、議員協議会としては初めての議員間の討論も含めて、約3時間に及ぶ議論が交わされた。



「マイフレンド！」友情の絆より強く

～友好都市ドーリンスク市訪問団～

名寄市の友好都市ドーリンスク市開市125周年記念の招待を受け、9月10日から15日まで、6人の訪問団が平成3年から始まり19年目になる交流の絆を一層深めて帰ってきました。（団長・中尾裕二副市長、小野寺一知議長、桜庭康喜、佐藤勝、喜多美仁、駒崎一男の各氏）



華やかな開市125周年記念式典



式典でドーリンスク市から友好のパンが贈られた

用語解説

1 DPC

診断群分類包括評価の略称。医療の定額支払い制度に用いられる評価方式で、患者が何の病気であったのかによって診療報酬が決まる制度。

2 ヒブワクチン

細菌性髄膜炎を予防するワクチン。



市長はじめ多くの市民と交流を深める

## 初の議会報告会開催 7月17日、20日

### 今後のあり方を検討・1班

市議会初の議会報告会を、2班に分かれ4会場で開催した。我々1班は、7月17日に風連庁舎、7月20日には名寄市総合福祉センターを会場に開催した。各会場の参加人数は、風連庁舎は11名、名寄市総合福祉センターは23名で、非常に少ない結果となった。各議員の市民への呼びかけ等、PRが不足していたことを反省している。

参加いただいた市民からは、JR名寄駅横整備計画、議員定数、政務調査費、各委員会の行政視察など、20件あまりの質問があった。また、要望意見もあり、すぐ対応できるものは所管の委員会で調査を行っている。

今後の課題としては、議員の発言が異なる面があったので、報告会の進め方について再検討が必要である。また、参加いただいた市民の中

には各議員の声や考え方を聞きたいという希望もあった。今回は「議会報告」ということに重きをおいたが、今後については、各班を少人数とし、懇談会方式の議会報告会を検討すべきでは、との反省も出ている。議会全体で議論し、報告会の必要性は十分認識できたので、多くの市民に参加いただけるより充実した議会報告会の開催に努める。



7月20日 総合福祉センターで

### 市民参加と情報共有・2班

議会基本条例に基づく初めての議会報告会を、緊張と期待を持って迎えた。今回の議会報告会は、2班に分かれて開催し、我々2班は市民文化センターと市民会館の2会場で行った。参加人数は両会場で22名だったが、参加者からは活発な発言があった。主な意見では、名寄市街地活性化整備事業に関するもので、駅横に進出する意向を示していた生協に断りをした経緯と、

西條への土地譲渡に関して、簿価との差額を市負担としたことについて議会の対応は議論不足との指摘を受けた。また、活性化事業において、バスターミナル等のハード事業が本当に街の賑わいづくりになるのか、将来の人口推計を考え、まちなか居住を進め、高齢化社会に即応できる施設の充実が必要ではないか、との提案もいただいた。今後、議会としては、駅横の事

業計画並びに都市再生整備計画について、市民に理解していただけるように慎重に審議し、責任を果たしていく。その他、自治の基本である市民参加と情報の共有についても、議会としての役割を果たすべきとの苦言もいただいた。

最後に参加いただいた市民に感謝するとともに、今後は、さらに多くの市民に参加いただけるように議会報告会のあり方を検討する。



7月20日 名寄市民会館

議会改革調査特別委員会

## 今後は定数・報酬を議論

当委員会では、これまで地方分権社会にふさわしい議会及び議員のあるべき姿を求めて、議会基本条例の制定について議論を重ねてきた。本年3月第1回定例会において、議員提案により条例を可決し、4月1日から施行している。これからの議会運営は、この基本条例をしっかりと踏まえ、議会としての市民への積極的な情報公開と説明責任を果たし、市民意思を的確に把握し、市民の負託に応えなければならない。

具体的な行動として、7月中旬に市内4カ所で議会報告会を実施し、市民の皆さんと意見交換を行った。市民周知、運営のあり方など反省点もあったが継続し開催するなかで、実のあるものにしていく必要がある。

これからの委員会議論は、議員定数と議員報酬について集中議論を進めることにしている。これらの課題については、委員会として一定の

方向付けを行い、市民の意見もいただきながら、結論を見いだすと考えている。

これまでの議論では、議員定数については現行定数を削減することを確認しているが、具体的な定数人員については、市政の現状と課題、将来の予測と展望及び類似市の議員定数と比較など検討し、方向を見いだすことにしている。

議員報酬については、当市議会はこれまで先進的に削減してきた経緯があるが、道内類似市議会との比較など現状分析を行い結論を出していきたいと考えている。



## 打った！走った！けど負けた！

議員会

市民ソフトボール大会が、8月2日小雨のなか開催された。強豪「ミスターX」に果敢に挑んだ我



黒井選手の力強いスイングでヒット！ヒット！

「市議会チーム」でしたが、1対11で善戦むなしく3回コールド負けを喫しました。ケガもなく交流を深めることができたのが何よりでした。それにしても「ミスターX」はすごいチームで、完封を免れたことは立派でした。



優勝チームに対し1点を入れたことは大健闘



## 委員会視察報告

### 建設常任委員会

#### 山形県新庄市・山形県寒河江市・宮城県気仙沼市

7月13日から16日までの日程で実施した。

山形県新庄市の 最上機工では、「廃プラスチックの油化施設」について研修した。同社は、土木業の会社であるが、平成19年より産業廃棄物、農業資材廃棄物等を原料とした油化プラントを建設し、油化生成を行っている。投資額は約4億円で、1日1.5トンの原料で、重質油と軽質油が約1000 油化生成されている。

山形県寒河江市では、「歴史と文化を生かした美しい景観の形成」について研修した。同市では、市民・企業・行政がパートナーシップを組んで、互いに連携、協力しながら自然や環境を見直して、皆で汗を流しながら快適で美しい地域づくりを進める「グラウンドワーク」が展開されている。

宮城県気仙沼市では、「三日町三丁目地区第1種市街地再開発」について研修した。同市は、市街地0.4 の面積に、1階にコンビニ、1階

から4階には特養、デイサービス、ヘルパーステーション等の社会福祉施設が整備され、5階から8階は市営住宅30戸、高齢者向け賃貸住宅5戸等があり、民と公が併設する建物である。施設入居者、利用者にとっても、社会とのつながりを実感できるまちなか居住施設となっている。

これら、研修で学んできたことを、名寄のまちづくりに生かしていきます。



新庄市



寒河江市

気仙沼市

### 議会報特別委員会

#### 石狩市 札幌市(道庁・北海道新聞社)

見出しで勝負 ～より正確に・具体的に～

7月6・7日、議会報特別委員会の行政視察を石狩市議会、北海道庁広報広聴課、北海道新聞NIEセンターで行った。石狩市議会では、議会報の編集と委員会活動について研修し、単色の濃淡を上手に使い分けの表紙づくり、議会広報編集委員から特別委員会へ衣替えすることなどの説明を受けた。

道庁広報広聴課では全道260万世帯に配布されている広報誌「ほっかいどう」(タブロイド版)の発行について、委託先業者も交えて説明を受けた。「クイズdeプレゼント」コーナーで3～4千通の応募があること、まずは見出しで関心を引くこと、もっと知りたい時の問い合わせ先の明示、文字以外の写真の使用などメリ

ハリのきいた紙面づくりのためのお話を伺った。

道新NIEセンターでは、見出しを付けることは本文を書くことより難しいことを実際の新聞記事を使いテスト形式で学んだ。見出しは正確さ 具体性 意外性(あれっ!と思わせる)が重要で、悪い例として「〇〇について・・・」をあげていた。新聞の見出しは、頭に結論(大事なこと)次に理由を書くことなど、とても実践的な講義を受けた。

今回の視察の成果を、今後の議会報づくりに生かしていきます。ご期待ください。



道庁広報広聴課

## 委員会活動をお知らせします

### 総務文教常任委員会

委員会を8月11日に開催し、所管する総務部、教育部（教育委員会）、名寄市立大学・短期大学部から、当面する10課題について説明を受けた。この中で、地上デジタルテレビ放送の実施により、共同受信施設で対応してきた難視聴

地域のほとんどで受信が可能となるとともに、アンテナ設置に対しても自己負担1割（9割市負担）で対応することが報告された。



共同受信アンテナ

### 民生常任委員会

6月25日に建設常任委員会と合同で開催し御料（東生）地区飲料水供給施設整備事業について報告を受けた。8月24日開催の委員会では、定額給付金事業、子育て応援特別手当、国保税の賦課状況、出産一時金の改正、次世代育

成支援行動計画等所管事項の報告を受けた。また、新型インフルエンザ予防対策の経過と、名寄市の対応について報告を受けた。



老朽化が著しい風連東生地区飲料水供給施設

### 経済常任委員会

委員会を8月26日に開催し、需要即応型生産流通体制緊急整備事業等の報告、農産物簡易加工処理施設条例、手数料徴収条例の一部改正について説明を受けた。また、（仮称）名寄駅横地区整備事業の全体配置図が示され、バスター

ミナル等の公共施設、民間が行う商業集客施設、高齢者向け賃貸住宅等の概要・進捗状況の説明を受けた。その後、作況調査等現地調査を行った。



名寄駅横地区を現地調査

### 建設常任委員会

委員会を3回開催し、7月29日と8月11日は、第2回定例会で付託された「名寄市が建設（新築及び改築）する公共施設に石油燃料設備の採択を求める請願」について審査した。提出者より趣旨説明を受けるなど、慎重に審査し、8月11日

に採択すべきものとして結審した。また、7月29日に建設水道部所管事業の発注状況等の報告を受けた。その後、新築・改修の現地調査を行った。



22年3月完成予定の新天文台

### 議会運営委員会

7月9日の委員会では、第5回臨時会について審査した。7月27日は第3回定例会の会期日程を審査し、議案については、「なよろ市立天文台条例の制定について」と「名寄市手数料徴収条例の一部改正について」を総務文教常任委員会

に、「名寄市農産物簡易加工処理施設条例の一部改正について」は経済常任委員会に付託することとした。平成20年度各会計決算の認定について等3件の審査のため決算審査特別委員会を設置し付託することとした。9月1日の委員会で、委員長には植松正一議員、副委員長には佐々木寿議員を互選することを確認した。

# へこたれない



フラダンスを始めて  
名寄市風連町仲町113 11 谷井八重子

風連スポーツクラブ「ポポ」開催の教室がきっかけで、フラダンスを習って1年がたちました。月に2回はインストラクターに、週に1回は自分達でレッスンをしています。初めは腰が動かず苦労しましたが、猛特訓のおかげで少しは動くようになりました。まちのイベントに出させていただいて、恥もかいていますが、それが「へこたれない」原因になっているかも知れません。イベントだけでなく、健康維持、リハビリにと会員は徐々に増えています。ハワイアンのゆったりとした曲で心も体も癒され、笑顔で更年期を乗り越えていけそうです。アロハ～



名寄で新規就農を果たして  
名寄市字曙 3296 齋藤 孝徳

埼玉県から名寄に移住して早9年、新規就農して6年目になります。ゼロからのスタートで、施設や機械を買い揃えることも大変でしたが、当初は農地が手に入らず、借地からの営農開始という厳しい現実でした。今はインターネットショップを立ち上げ、地元スーパーとの提携、直売所での対面販売、新規作物の栽培など色々な事に挑戦し、経営も軌道に乗り始めました。これからも、販路を拡大し消費者から信頼される農業者を目指し努力します。昨年末には息子も誕生し、父親としての自覚も出てきました。農業は、私にとって天職だと思っています。

## 議会日誌

- 6月19日 ・議会報特別委員会
- 24日 ・青森県十和田市議会行政調査来名
- 25日 ・民生常任委員会
- ・建設常任委員会
- 30日 ・佐賀県鳥栖市議会行政調査来名
- 7月2日 ・愛知県新城市議会行政調査来名
- 6日 ・各会派代表者会議
- 7日 ・福岡県筑後市議会行政調査来名
- ・全国高速自動車道市議会協議会  
副会長・監事・相談役会議(東京)
- 8日 ・富山県立山町議会行政調査来名
- 9日 ・議会運営委員会
- ・第5回臨時会
- 15日 ・宮崎県都城市議会行政調査来名
- 17日 ・議会報告会

- 20日 ・議会報告会
- 21日 ・全国市議会議長会基地協議会  
第71回理事会(東京)
- 28日 ・議員協議会
- 29日 ・建設常任委員会
- 8月6日 ・全国市議会議長会基地協議会  
北海道部役員会(恵庭)
- 11日 ・建設常任委員会
- ・総務文教常任委員会
- 24日 ・各会派代表者会議
- ・民生常任委員会
- 26日 ・経済常任委員会
- 27日 ・議会運営委員会
- ・各会派代表者会議
- ・議会報特別委員会
- 9月1日 ・議会運営委員会
- 10日～15日 ・ドーリンスク市開市125周年記念式典

## 編集後記

第45回衆議院議員選挙が8月30日に行われ、国民の審判は民主党圧勝であり、政権交代が現実となりました。マニフェストに示された子育て・教育支援、後期高齢者医療制度の廃止や年金問題、高速道路無料化等の公約が、本当に国民が待望している事が、結論は別として、期待と不安の荷物を満載した船出となりそうです。

名寄市に「名勝誕生」、市内北東部にある九度山がアイヌ文化を受け継ぐ景勝地として、国の名勝に正式指定され、観光名所が増えました。

新型インフルエンザが全国で猛威を奮っています。道内においても感染が拡大し、流行期に入っています。なお、流行のピークは、早ければ10月上旬になるようで、感染予防の徹底が重要です。一人一人が注意しましょう。(健)

